

世界遺産アカデミー認定講師 File No.29

このコーナーでは、世界遺産アカデミーの啓発活動にご支援いただいている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当てて、お話を伺います。第29回目の今回は、日本城郭検定準1級をお持ちでお城マニアの一面を持ち、東北エリアを拠点に、Wiz Biz 仙台・代表、“地域活性化プロデューサー”として活躍されている、WHA認定講師の大友ゆり子(おおとも・ゆりこ)さんです。

——幼い頃の夢がきっかけ

幼稚園児だった頃の、ある夜の夢。私は古代遺跡の中にいました。それ以来、「あの夢は何だったのだろうか?」と、夢の遺跡の場所を確認するかのごとく、エジプトやギリシャなどの古代文明に興味を持つようになりました。次第に歴史や自然への関心も高まり、高校時代にはTBSの「世界・ふしぎ発見!」に釘づけに。世界各地をレポートする「ミステリーハンター」に憧れました。「世界遺産」というキーワードを意識するようになったのは、実はだいぶ時間の経った2005年頃で、NHKのある番組で「危機遺産」を知った時でした。後世に遺さなければならない遺産が、自然災害や人災などで傷ついていることに心が痛み、世界遺産の価値を多くの

方々に知ってもらいたい、そんな想いから、世界遺産を勉強し始めました。世界遺産学習を始めた当時は営業職に就いていましたので、平日は、移動時間を利用して、重要語句や定義を公式テキスト中心に勉強。読書嫌いの私がかたく繰り返し読むことを徹底しました。一方、休日は、テレビやDVDなどの映像で目から楽しむ。この2本立てでした。マイスター受検の小論文対策として、新しく登録された世界遺産や最新ニュースを基に自分自身で作成した問題を解いてみたり、思い込みや勘違いが無いように調べ直したりして、文章にまとめる練習を続けました。



「白神の伝道師」としてもご活動されている、大友さん



十二湖、青池にて

——“地域活性化プロデューサー”としての願い

2011年の東日本大震災以降、私は、観光資源を有効活用させる“地域活性化プロデューサー”として、傷ついた東北で活動していますが、

「なんとか日本の良いところ、地元の良いところを、もう一度見直す、きっかけになってほしい」という願いが、強くあります。日本の世界遺産がどのようにして世界遺産登録となったのかをお伝えすることで、福島・宮城・岩手の皆さんが元気になってくれたら! 地元の良いところを自らの手で広げていこう、という思いになってくれたら! そんな一心で「世界遺産セミナー」を開催しています。原発問題で今もなお苦しんでいる福島県内の方々のお声で、とても印象的だったことがあります。「京都も奈良も、もちろん行ったことがあるけれど、何も考えずに観光していた。世界遺産になった経緯を知ったら、もう一度行ってみたい」と、瞳をキラキラ輝かせて、感想をおっしゃってくださいました。また、「福島でも、世界に誇れるところを、どんどん見つけていこう!」

と、前向きに捉えていただけたこと。皆さんからの“ありがとう”を頂戴するたびに、講師冥利に尽きると、私こそ感謝したい気持ちで胸がいっぱいになりました。世界遺産は、たくさんの感動を与えてくれます。私自身の世界観が広がったことは言うまでもありません。日本社会の感覚だけでは、国際紛争や内戦が孕んでいる問題を理解することは難しいはず。宗教や文化、教育だけではなく、価値観の違いも、なんて多いでしょう。世界遺産を通じて、それらの多様性を学ぶことができ、多くのことに気づかされました。

——世界遺産は、人生の宝探し

私自身がなかなか海外に行く機会がないため、

他の講師の方々比べると、外国の世界遺産に足を運べていないのは事実です。そのため、報道される国際情勢に注視し、常に世界遺産に関する情報を探しています。また、現地で見聞きした情報に最も価値がありますので、国内で立ち入ることのできる遺産には、少なくとも出向くようにしています。そんな私にとって、『平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-』は、身近なだけでなく、特別な想いのある世界遺産です。平泉は、藤原清衡が「平和への願い」を強く込めてつくった、理想郷なのです。清衡自身が「前九年の役」や「後三年の役」などの戦で、実父・異父兄弟・妻子など多くの身内を失ったことから、敵・味方関係のない恒久平和を悲願としていました。長い戦乱が続いたこの東北地方に、争いのない理想郷、「仏国土」を、武力ではなく文化によって建設することを宣言し、非戦を決意



知床峠で一枚

したのです。このことは、現代そして今後も私たちが願うべきことであり、戦争のない平和な社会を築いていくことは、世界遺産の理念にも通じています。私が世界遺産学習を始めたのは社会人になってからですが、もし学生の時から世界遺産を学んでいたら……、地理も歴史ももっと幅広



知床八景のひとつ、フレベの滝を散策

い視野で捉えることができ、私の人生は変わっていたかもしれません。しかし、年齢に関係なく、世界遺産に触れることで得られる感動や知識は、遥かなものです。私がそうであるように、“人生の宝探し”を提案できるような、WHA認定講師としての活動を続けてきたいと思っています。